社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和05年01月23日

計画の名称	安全安心なくらしを支える都市空間の形成（防災・安全）												
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	福岡県, 大野城市, 春日市												
計画の目標	都市における交通安全の確保のため通学路等における歩道の整備を行う。また併せて市街地における収容空間機能を利用した無電柱化による良好な都市空間の形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	15,145	A	15,145	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4末)	(R7末)	(R9末)
1	街路整備区間における死傷事故件数を16件/年から中間目標15件/年、最終目標13件/年に削減する。			
	街路対策通学路における死傷事故件数の算定 対象の街路整備箇所における死傷事故数を2割削減する。	16件/年	15件/年	13件/年
2	県民が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。			
	安全安心な街路空間の安全性の向上 安全安心な街路空間の安全率（%）＝Σ（改良済延長）/Σ（整備延長）	4%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

案件番号：　0000782914

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	境口鴨生田線	改築　0.51km	直方市	■	■	■	■	■	4,610	1.1	－
	A01-002	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	那珂川宇美線（下白水西工区）	改築　0.52km	春日市	■	■	■	■		1,351		－
	A01-003	街路	一般	大野城市	直接	大野城市	S街路	改築	中川久保線（Ⅰ工区）	改築　0.70km	大野城市	■	■	■	■	■	639		－
	A01-004	街路	一般	大野城市	直接	大野城市	S街路	改築	中川久保線（Ⅱ工区）	改築　0.68km	大野城市	■	■	■	■	■	1,251		－
	A01-005	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	下老良植木線	改築　0.35km	直方市		■	■	■	■	770	1.1	－
	A01-006	街路	一般	春日市	直接	春日市	S街路	改築	光町大土居線	改築　0.45km	春日市			■	■	■	1,975		－
	A01-007	街路	一般	春日市	直接	春日市	S街路	改築	小倉紅葉ヶ丘線	改築　0.59km	春日市			■	■	■	3,369		－
	A01-008	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	芦屋水巻仲間線（古田工区）	改築　0.40km	水巻町				■	■	530	1.2	－

案件番号： 0000782914

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-009	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	古屋伊左座線	改築　0.46km	水巻町				■	■	650	1.3	－
											小計						15,145		
											合計						15,145		

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R05	R06	R07		
配分額（a）	628	415	567		
計画別流用増△減額（b）	0	0	0		
交付額（c=a+b）	628	415	567		
前年度からの繰越額（d）	133	248	214		
支払済額（e）	513	449	474		
翌年度繰越額（f）	248	214	307		
うち未契約繰越額(g)	76	64	41		
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d)）%	9.98	9.65	5.21		
未契約繰越率+不川率が10%を超えている場合その理由		関連事業との調整により工事着手が延期したため	関連事業との調整により工事着手が延期したため		

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

案件番号： 0000782914

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全安心なくらしを支える都市空間の形成（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
基本方針・上位計画等との適合等	○
I.　目標の妥当性	
地域の課題への対応	○
II.　計画の効果・効率性	
整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II.　計画の効果・効率性	
定量的指標の明瞭化	○
II.　計画の効果・効率性	
目的と事業内容の整合性	○
II.　計画の効果・効率性	
事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
円滑な事業振興の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

案件番号 :0000782914